

企業名：KYB

レポート名：統合報告書 2021

### 1. この会社が目指す姿が理解できるか

KYB とは、自動車部品・鉄道車両部品・航空機部品・建設機械部品・産業機械部品・特装車・建設機械・産業機械・免震装置・試験装置及び各種油圧システム製品を製造する株式会社である。

2021 年の統合報告書によると、KYB の目指す姿は、「人々の暮らしを安心・安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献する KYB グループ」としている。KYB の主な生産物として世界シェア第 3 位であるショックアブソーバが挙げられるが、ショックアブソーバの主なはたらきは右の 3 つで、車に乗る上での安心・安全・快適に大きく関わっている。車の部品という人の生活に直結する製品を製造する KYB の「人々の暮らしを、安心・安全・快適にし、社会に貢献する」という目標は十分に理解できる。



ショックアブソーバの主なはたらき  
(KYB ホームページより引用)

### 2. この会社の競争優位性が理解できるか

KYB は様々な油圧機器を扱う HCG (ハイドロリックコンポーネンツ) 事業での競争優位性として建機メーカーに対してシステム提案ができる点を挙げている。ショベルカーなどの建設機械の駆動系機構は、コントロールバルブ、ピストンポンプ、走行モータ、旋回モータ、シリンダなどの各パーツで構成されているが、KYB はこれらの製品群をすべて製造しており、システム提案が可能となる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか

私はこの競争優位性に持続性があると考えます。その根拠として以下の理由が挙げられる。KYB は油圧機器以外の建設機械の部品を幅広く製造しており、いずれの部品も 100 年の歴史の中で磨いてきた高度な技術によって製造されている。技術は、失われるようなことはな

く、逆に10年、20年後には技術の発展が見られるだろう。また、幅広く製造を行えるのはKYBのような資金を十分に持つ大企業のみであり、その数がとても少ないことは容易に想像できる。よって、この競争優位性に持続性があると考ええる。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

現在、KYBは23カ国に拠点を持ち、グローバルな企業として活躍している。そこでKYBが行っているのが海外拠点幹部育成である。英語を中心とした育成・教育プログラムは英語能力の改善だけでなく、コミュニケーション能力、そして、視野を世界規模に広げた経営能力の向上が期待できる。また、KYBはSDGsに基づいた環境マネジメントを行っている。現在の世界では自然との共存とともに発展することが求められおり、私たちにとって環境に対する意識改革は必要不可欠である。よって、私はこの会社で人的資本の価値向上を達成できると考える。

#### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

- ・1つの事業のみでしか競争優位性をアピールしていない。
- ・競争優位性を挙げるだけで、それによる利点などが挙げられていない。